

1. 概要：

- ・初参加2名を含む総勢9名で「どこまで新しさが入り込んでも伝統と呼べるのか？」という問いを掲げ、主に、伝統とは何か、どこまで新しさが入り込んでも伝統と呼べるか、伝統が持つ型とは何かについて対話し、考えた。

2. 対話：

(0) 問いの提起

- ・進行役から、アイスブレイクとして「伝統と聞いてまず何を思い浮かべるか？」と参加者に訊いた上で、今回の問い：「伝統」を提起し、対話を始めた。
- ・具体的に挙がった例：・プロ野球巨人 vs 阪神戦、・地元の祭り、・伝統芸能：歌舞伎、スーパー歌舞伎、・老舗店：鰻や和菓子、等々。

(1) 伝統とは何か？

- ・「伝統」は「伝」と「統」から成り立っているが「統」という文字に少し変だという違和感を持った。血統という意味合いから「統」があるのだろうか。
- ・味噌作りや漬物作りは伝統と呼べるのだろうか。→長く続いており、伝統と呼んで良いと思う。
- ・伝統と似た言葉には慣わし、悪弊や旧弊があるが、弊は弊害に由来し、悪い意味である。だから、善い慣わしを伝統と呼ぶのではない。悪弊の例：昔の運動部ではうさぎ跳びを練習の定番としていたが、膝を痛める等の悪い影響を考慮し、現在では行われていない。
- ・電車に乗るという行為は、善い慣わしだが、伝統と呼べるかは疑問である。
- ・伝統と呼べるものには決まった型がある。型を持ち、長く残っている、善さそうな慣わしが伝統である。

(2) 具体例で考える伝統とは何か？

- ・服を着る行為も、型があり長く残り善さそうだが、伝統か。→善いという判断には価値を見出している。
- ・味噌作りは秘伝のレシピのような型があり、伝統と呼んで良いと思う。
- ・価値という指摘が出たが、価値には利便性の追求ではないものではないか。例：米国アーミッシュ。
- ・多くの日本語は明治以降に4割程度が変容し、英語から意味を導入して作られた。伝統もそうである。
- ・伝統という場合、レジェンドと血統という意味の2つがある。レジェンドは良し悪しの対象となる意味で、血統はずっと続いているものという意味である。
- ・コカコーラは工業製品だが、型として独特のロゴとラベルを持ち、長く続き、同時にサンタクロースが髭を生やし赤い服を着ているという物語を作り出した。これは伝統と呼べるか。→呼べそうである。
- ・AKB48も長く続いているし、型があると言える。アイドルと一緒に育てる等の基本は受け継いでいる。
- ・舞楽という伝統芸能を習っていた経験がある。東儀秀樹が有名。この芸能では、まず型通りにやることを習う。でも習う裡に、型通りに行うだけで、個性を否定されると嫌になってくる。だから、スーパー歌舞伎をやりたい気持ちは良く分かる。→個性の中で善いと思えるものが型となり、伝統となる。
- ・伝統には型が要するというが、経営者が経営観点から赤字なので止めたら、伝統と呼べないのではない。つまりお金儲けが目的であれば、伝統と呼べるのか。
- 老舗和菓子店がコロナ禍による経営難から閉店したら、伝統ではないとしてしまうには違和感が残る。
- 文楽は、過去に大阪府が補助金を打ち切ってしまったため、自立して儲ける仕組みを作ろうとしているが、それを伝統と呼べなくなってしまうのか。

(3) ワンピース版スーパー歌舞伎を事例にどこまで新しさが入り込んでも伝統と呼べるか？

- ・ワンピースの物語を表現したスーパー歌舞伎は伝統と呼べるか？→No：1名、Yes：6名、不明：1名。
- ・No意見：スーパー歌舞伎は、鏡餅で、蜜柑を新しさ、餅を型部分と考え、ワンピースという蜜柑が大きく、型となる宙乗りや隈取の餅部分が小さく思える。が、だからと言って、歌舞伎と呼び、伝統と呼んでいけないとも思えない。
- ・Yes意見：型となる宙乗りや隈取等があるなら、新しい技術としてレーザーを使っても歌舞伎である。
- ・不明意見：ワンピース版スーパー歌舞伎が今後何十年も続いていくかを考えるとそうとも思えない。
- ・伝統と呼ぶためには2つの要因が必要となる。①本人達が拘っていてオリジナリティ(独自性)がある。②周りの人達もそれを認めている。
- ・コカコーラには従来の濃琥珀色ではなく透明なものもある。コカコーラが伝統として、透明コカコーラも伝統か？→透明という特徴を個性の一つと考えれば、伝統と呼べそうである。
- ・歌舞伎は目立つ・派手ということに起源があり、新しさを受け容れることに本質がある。新しいことを受け容れるというスピリットを受け継いでいるという観点に立つと、スーパー歌舞伎も歌舞伎と呼べる。
- つまり、新しさを受け容れることが型であれば、それは元のものと同等と考えて差し支えない。
- ・そもそも、スーパー歌舞伎を歌舞伎と呼ぶかと、それを伝統と呼ぶかは同じことか。

(4) 伝統を形作る型とは何か？

- ・製造条件は型ではない。・型を考えると、人間に例えてみると、人は常に物質的に新陳代謝していて、元の物質からは入れ替わってしまう。変わらない型は何かというと記憶ではないか。自分という身体が寝たきりになってしまい、脳をコンピュータに移植できたとしたら、自分は思考であるコンピュータの方であると思えるが、その裡に、身体性がなくなってしまった脳の側は私ではなくなくなってしまいそうである。だから、やはり私=型は身体の方である。
- ・言葉で伝え切れない。伝統とは理性的ではない。何かが美しいと分かるから、それを様式美と呼ぶように、型を説明しようとすると、どうしてもトートロジカルになるが、ステレオタイプのことである。
- 型とは、長く続いてきた、何か善い価値を見出せる様式、やり方や性質、コアと呼べないか。
- ・「自分達はこれだけすごい」という宣伝手法は歌舞伎もAKB48も同じであり、受け継がれている。

3. まとめ

- ・事例を基に、伝統が持つ型について考え、対話してみたが、言葉で表現することが非常に難しいことが分かった。対話中に上がった「スーパー歌舞伎を歌舞伎と呼ぶかと、それを伝統と呼ぶかは同じか」という問いは時間切れとなってしまったため、次の機会に採り上げることを考えてみたい。

以上